

補足資料 3 基盤共通機能の機能要件の補足

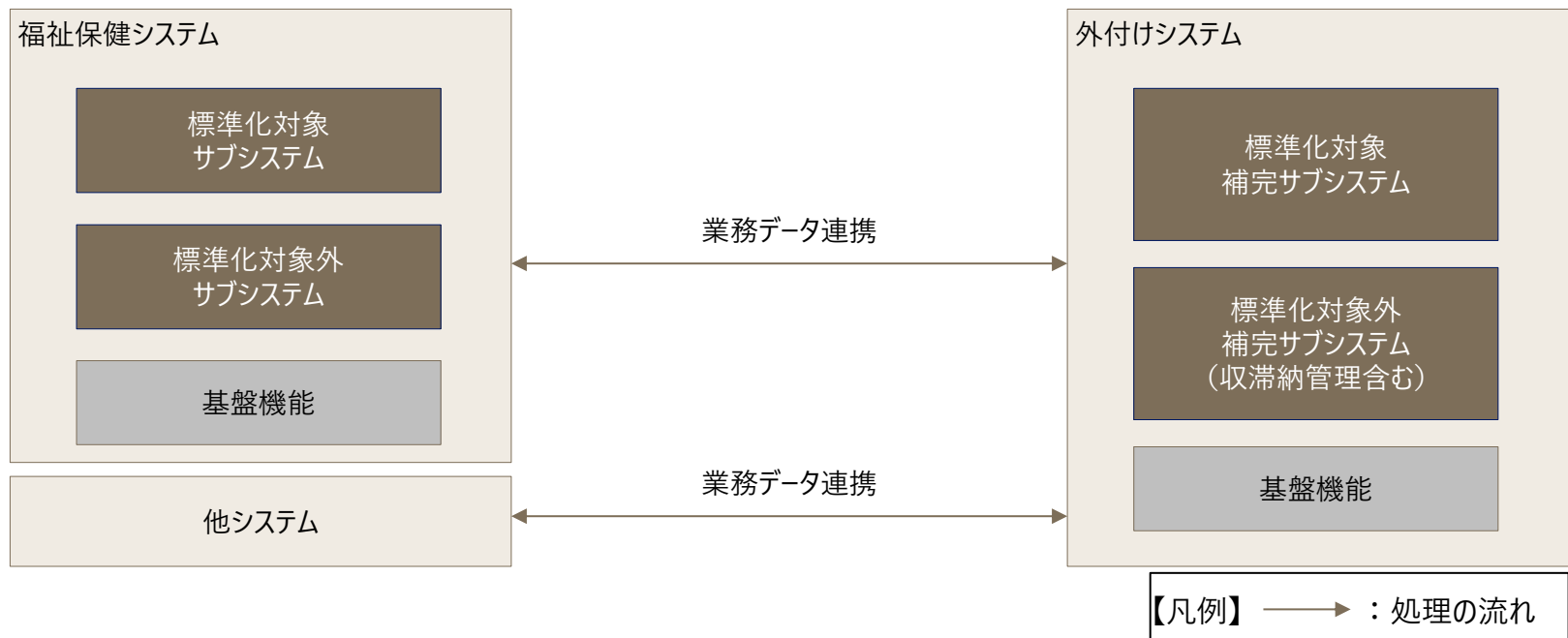
目次

1. 外付けシステムの位置付け及び想定構成	2
2. 外付けシステムの実現イメージ	3

1. 外付けシステムの位置付け及び想定構成

- 本資料は、外付けシステムRFIに向けて作成する補足資料の一部として、外付けシステムの位置付け、想定する全体構成および連携の考え方を整理するものです。
- 外付けシステムRFIでは、機能要件・非機能要件・連携要件に加え、補足資料としてシステムの全体像や連携一覧等を整理する方針としており、本資料はその前提理解を補うことを目的としています。
- 地方公共団体情報システムの標準化では、標準化対象事務に利用する情報システムは、標準化基準に適合した標準準拠システムであることが基本とされています。
- 一方で、国の資料では、標準準拠システムと業務データの連携等を行う関連システムや、独自施策システム等・外部システムとの連携が想定されています。
- 本資料における外付けシステムは、こうした制度上の整理を踏まえ、標準準拠システムと連携しながら必要な業務を補完するシステムとして位置付け、その構成および論点を整理するものです。

外付けシステムの想定構成



2. 外付けシステムの実現イメージ

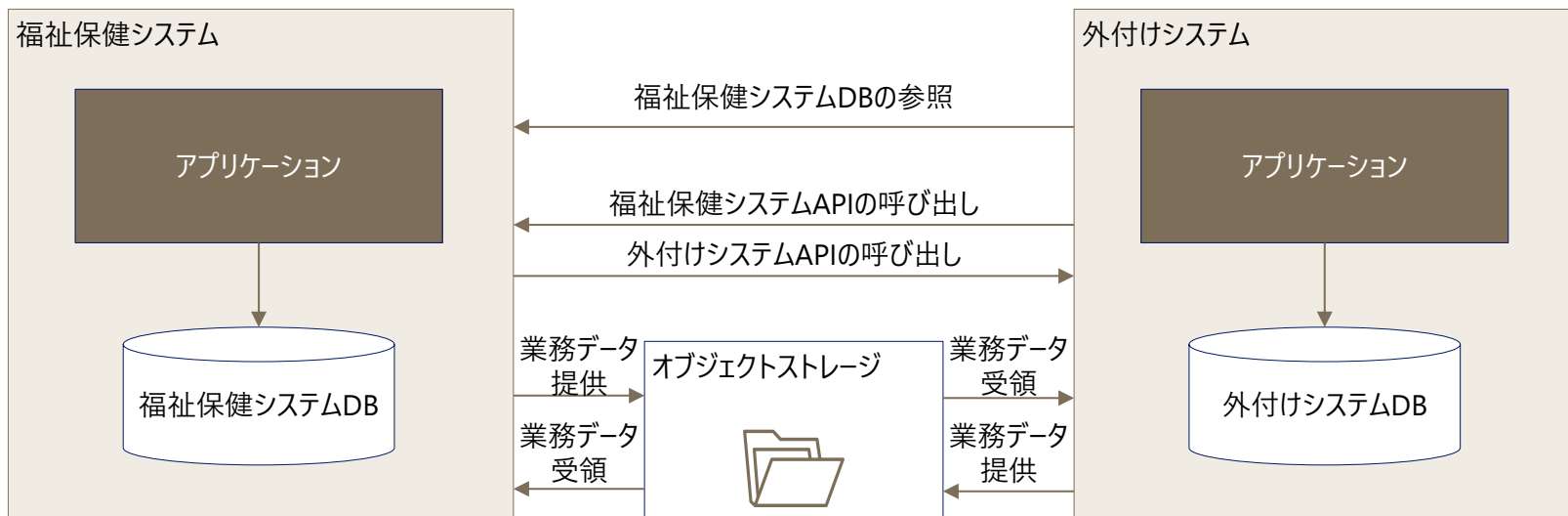
2.1. 福祉保健システムとのデータ連携

- 外付けシステムと福祉保健システムとのデータ連携の実現イメージは以下の通りです。

概要

- 本資料では、福祉保健システムと外付けシステムとのデータ連携について、データベース（以下、DB）の参照、API連携、オブジェクトストレージを介したファイル共有を主な想定パターンとして整理しています。
- 標準準拠システムと連携する関連システムの構成は制度上も想定されており、具体的な連携方式は採用製品の仕様や標準化基準との整合を踏まえて検討する必要があります。
- 本RFIでは、福祉保健システムのデータを可能な限り即時で反映できること、また外付けシステムで算定・加工した結果を必要に応じて福祉保健システムへ連携できることを重視し、これらを実現するうえで最適なデータ連携方式をご提案いただくことを想定しています。

福祉保健システムと外付けシステムとのデータ連携



【凡例】 → : 処理の流れ

2. 外付けシステムの実現イメージ

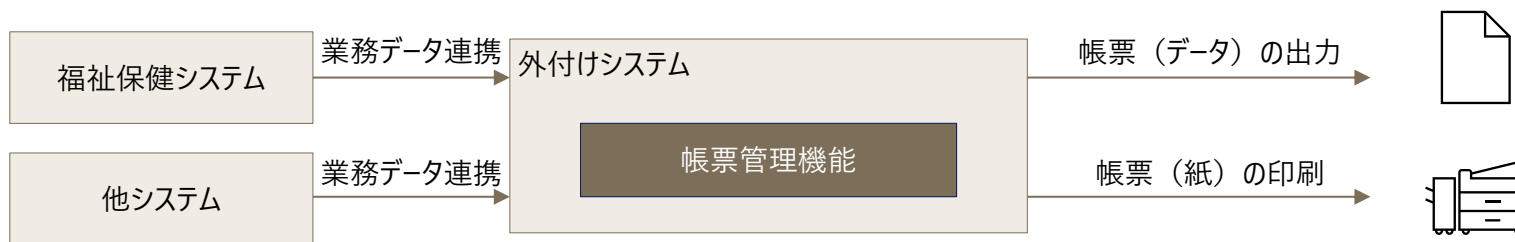
2.2. 帳票管理機能

- 外付けシステムで構築する帳票管理機能の実現イメージは以下の通りです。

概要

- 外付けシステムに構築する帳票管理機能は、福祉保健システムに蓄積された業務データを対象に、福祉保健システム単体では対応できない帳票を作成・出力・管理することを想定しています。
- 具体的には、定型帳票および本市独自帳票の作成に加え、帳票レイアウトや出力条件を利用者が柔軟に設定できるようにするとともに、バッチ処理等による一括出力・印刷を実行可能とすることを想定しています。
- また、発行した帳票については、電子データとして保存し、検索、参照、版管理および発行履歴の管理を行うことで、帳票のライフサイクル全体を通じた一元的な管理を実現することを想定しています。
- さらに、帳票の作成・出力にあたっては、EUC機能やデータ連携機能と連携し、抽出・加工されたデータを帳票として整形・提供する役割を担うことを前提とします。
- RFIにおいては、上記を実現するにあたり、帳票定義の柔軟性（レイアウト設計、条件設定の粒度）、大量帳票出力時の処理方式（バッチ処理、印刷連携等）、および帳票管理（検索性、版管理、履歴管理）の実現方法を含め、貴社としての実現方式および前提条件をご提案ください。

帳票管理機能の想定構成



※本図の「福祉保健システム、他システム」は外付けシステム調達範囲外

【凡例】 ———▶ : 処理の流れ

2. 外付けシステムの実現イメージ

2.3. EUC機能

- 外付けシステムで構築するEUC機能の実現イメージは以下の通りです。

概要

- 外付けシステムに構築するEUC（End User Computing）機能は、職員が自ら業務データを抽出・分析・加工および出力することを可能とする機能として活用することを想定しています。
- これは、デジタル庁において「地方公共団体の職員がデータを抽出、分析、加工又は出力する機能」として位置付けられている共通機能に該当するものです。
- 具体的には、福祉保健システムおよび関連システムに蓄積されたデータを対象として、利用者が任意に抽出条件や集計条件を設定し、一覧表や統計資料の作成および出力を行うとともに、CSV等のファイル形式でのデータ出力や、帳票管理機能と連携した資料生成を可能とすることを想定しています。
- また、標準化により基幹業務システムに実装されない独自施策や補助的な業務についても、当該機能により対応可能とすることで、業務の柔軟性および迅速性の確保を図ることを想定しています。
- 一方で、EUC機能は現場主導のデータ活用を可能とする特性上、属人化やデータ不整合、セキュリティリスク等が発生し得るため、適切な権限制御、利用範囲の管理、処理内容の可視化等により、統制を確保しながら運用することを前提とします。
- RFIにおいては、上記を実現するにあたり、利用者による抽出・加工の自由度（UI・設定粒度）、他機能（帳票管理・データ連携等）との連携方法、ならびに統制の確保（権限制御、ログ、管理方法）を含め、貴社としての実現方式および前提条件をご提案ください。

EUC機能の想定構成



※本図の「福祉保健システム、他システム」は外付けシステム調達範囲外

【凡例】 ———▶ : 処理の流れ

2. 外付けシステムの実現イメージ

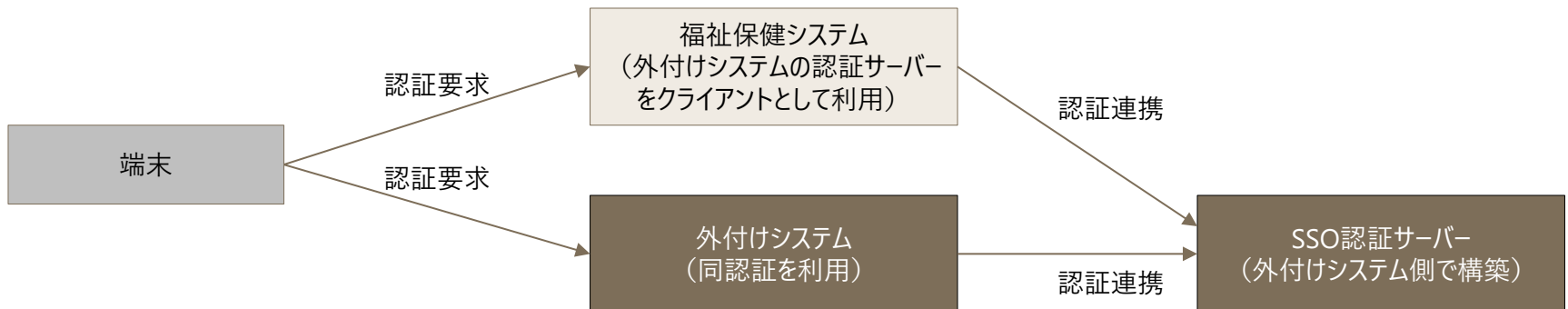
2.4. シングルサインオンの認証サーバー構築

- 外付けシステムと福祉保健システムで利用するシングルサインオンの実現イメージは以下の通りです。

概要

- 本資料は、外付けシステムにおいてシングルサインオン（以下、SSO）を実現するための認証サーバーを構築することを前提に、福祉保健システムとの認証連携の考え方を補足するものです。
- 福祉保健システムは当該認証サーバーと連携するクライアントとして動作し、福祉保健システムへのログインに利用することを想定しています。
- 認証サーバーの構築可否に加え、福祉保健システムとの接続に当たって必要となる認証プロトコル、インターフェース方式、セッション管理その他の詳細仕様について、福祉保健システム側と調整のうえ実現可能な構成をご提案いただくことを想定しています。

SSOの想定構成



※本図はイメージ図であり、認証プロトコルや通信仕様の詳細を規定するものではありません。

【凡例】 : 外付けシステム調達範囲外 : 外付けシステム調達範囲

2. 外付けシステムの実現イメージ

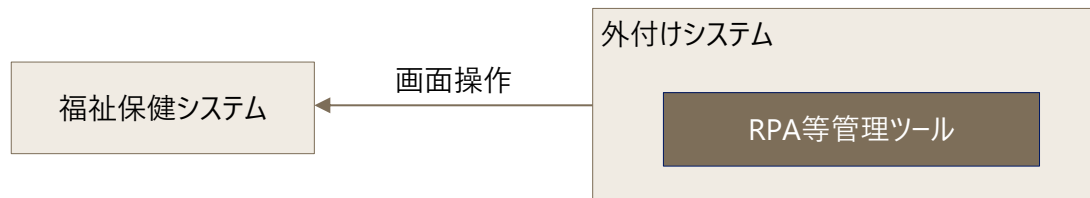
2.5. RPA

- 外付けシステムで構築するRPAの実現イメージは以下の通りです。

概要

- 外付けシステムにおけるRPA機能は、福祉保健システムと外付けシステム間において、システム間の連携が実現できない場合において、業務処理の自動化を実現するための補完手段として活用することを想定しています。
- 具体的には、画面操作等を通じて、データの転記、登録、更新、帳票出力等の定型的な処理を自動化することで、人手による作業負荷の軽減および処理の正確性向上を図ることを想定しています。
- なお、本機能は一般的にRPAツールの活用を想定した記載としていますが、当該目的（システム間連携が困難な場合の代替的な自動化手段の提供）を実現可能であれば、実装手段はRPAに限定するものではありません。その他の自動化手段による実現も含め、最適な方式での提案を求めます。
- また、本機能はあくまでシステム連携の代替または補完的な位置付けであることから、福祉保健システムへの影響や保守性、運用負荷等を十分に考慮したうえで、適用範囲および利用方法を整理することを前提とします。
- RFIにおいては、上記を踏まえ、適用可能な自動化手段の種類、適用対象業務の考え方（どのような処理に適するか）、および運用・保守の観点（障害時対応、変更影響、実行管理等）を含め、貴社としての実現方式および前提条件をご提案ください。

RPAの想定構成



※本図の「福祉保健システム」は外付けシステム調達範囲外

【凡例】 ———▶ : 処理の流れ

2. 外付けシステムの実現イメージ

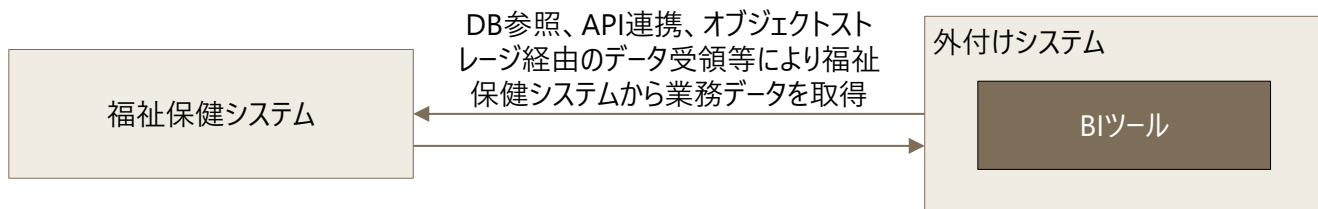
2.6. BIツールの構築

- 外付けシステムで構築するBIツールの実現イメージは以下の通りです。

概要

- 本資料は、外付けシステムの活用例の一つとして、福祉保健システムの業務データを活用した BI ツールの構築および利用イメージを示します。
- 外付けシステムに構築するBIツールは、福祉保健システムに蓄積された業務データを対象に、統計分析や傾向分析、多角的なデータ分析等を行うための分析基盤として活用することを想定しています。
- 具体的には、データの可視化、集計条件の柔軟な設定、ドリルダウン等の分析機能を通じて、施策効果の把握や課題の抽出を支援することを目的としています。
- これにより、データに基づく意思決定（EBPM）の推進を通じて、業務運営の高度化や政策立案の質の向上に寄与することを目的としています。
- なお、本機能はRFIにおいては任意回答（必須ではないが、提案されることが望ましい機能）として位置付けており、実現方法については各社からの提案を求めるとします。

BIツールの想定構成



※本図の「福祉保健システム」は外付けシステム調達範囲外

【凡例】 ———▶ : 処理の流れ